



災害時の連絡手段に無線整備

北条地区災害対策本部

本部長 江尻 東磨

震度六強の地震を続けて被災した当地区では、災害時の連絡手段の確保は必須の課題でありました。

中越地震後の防災会議で、広大な北条地区において情報の混乱を防ぎ、情報の一元化を図るためには「無線」が一番便利で効果的なツールであることが分かりました。

このことは昨年の防災訓練でも実証されましたが、その整備には多額な経費が必要となります。

そんな時、自主防災組織結成町内会に対し、中越大震災復興基金の一環である「地域コミュニティ再生事業」があることを行政から紹介されました。

この補助金は、被災した集会施設等の復旧支援や防災資機材等の整備に使用できるもので、上限二百万円とするものです。

全町内会がこの補助金を活用し、その一部を地区内の無線整備に充てることを決定した直後に、中越沖地震が発生しました。

九月に入り、基地局となるコミュニティセンターから各集落センター間における電波伝搬調査を実施。

結果、十二カ所の集落に通信困難な場所があることが分かりました。その施設には中継局としてアンテナや基地局用機材の設置が必要となります。残る八集落は簡易無線機の設置のみとな

北条地区
コミュニティ協会
振興協議会
TEL25-3355

えべ しょうご

りますので無線整備にかかる費用は町内会によつて違うこととなります。また、コミュニティは補助対象外のため、基地局整備に要する費用や設置許可がおりず、市や県に交渉。結果、地域の情報連絡統括する大きな役目を担うコミュニティにはお金が出ないが設置は認められることになりました。それら費用を全て合算し、全集落で均等割にして負担していただくことになりました。

今後、活躍して欲しい道具ではありませんが、何が起こるか分からない現在、自分たちの地域は自分たちで守つていかなければなりません。そのためには迅速・正確な情報伝達が必要です。

設置工事が十二月三日から始まりました。完了は来年の一月中旬の予定です。地域の皆さまのご理解をよろしくお願いいたします。

安全祈願祭・竣工式終了

総代連絡協議会
会長 加藤 保

十一月十八日(日)、大勢のご来賓の参列を賜り、無事、安全祈願祭と竣工式が終了いたしました。

ただ、前日の晴天がウソのような悪天候のため、安全祈願祭及び式典はコミュニティセンターで、テープカットのみを現地公園で行いました。

新年度から地区の管理・運営となりますが、今年度は市の農林水産課が窓口となります。



冊子片手に 北条地区内の山城検証!



善根 毛利浄廣の墓を訪ねて

上記、広田農総公園竣工式と同日の十一月十八日、教育振興室が先人北条毛利氏と地区内の山城を詳しく知ってもらうことを目的に講座を開催した。

教材は六月に出版した冊子「越後北条毛利氏 山城と隆盛のあと」。

著者・平原先生を講師に巡った山城は、北条毛利家の下に「地侍」が多く存在したことを裏付け、毛利を知る原点となった。次回は越後北条毛利氏の総括となる。

(教育振興室)